



# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第108号  
令和6年12月12日

## 心温まる「好体験」

校長 諸橋 智

子どもたちが楽しみにしていた児童会祭り「クローバーランド」が開催されました。子どもたちが夢中になって楽しむ中に入り、私もすべてのお店を回ることができました。子ども店員さんはとても立派な対応で、お客として焦りや不安は全く感じない、そんな温かいひと時を過ごすことができました。

「焦る」と言えば――我が家の近くにコーヒーの「ス〇バ」ができました。何度か利用したことがあるのですが、何となく焦ります。慣れていないドライブスルーはなおさらです。メニューの名前がおしゃれすぎて、その中身がすぐには思い浮かびません。どれがよいかスムーズに判断できないのに後ろには次の人々（車）が並んでいる…。ええ～い、これとこれ！と急いで注文すると、中身がちょっと違っていたりして…。

その点、クローバーランドは、どのお店でも「いらっしゃいませ。」「どうぞ。楽しいですよ。」といざない、「こちらでお待ちください。」「次の方がおいでになるので前のほうに詰めていただけますか。」と丁寧な案内が続きます。ゲームのやり方の説明ももちろん丁寧です。どのお店にも共通していることは、お客さんをもてなす心にあふれている点でした。遊ぶ方も案内する方も夢中になって取り組むからこそ、コミュニケーションが膨らみ思いが伝わるのだと感じる瞬間の連続でした（もちろんス〇バの店員さんの対応も素晴らしいです…）。

クローバーランドは、児童会行事として1年の中で大きな意味をもっています。ピア・サポートに裏打ちされ日々磨いてきた学習の成果が発揮される場になっているからです。

例えば、1年生は秋まつりを開催し、地域の方やボランティアの皆さんに感謝の思いを伝え楽しんでいただきます。2年生はおもちゃ祭りを開催し1年生を招待します。1年生に楽しんでもらうための工夫や、迷ったり困ったりしないガイド方法など、みんなで考えます。そして、このクローバーランドでは、クローバー班の2年生が1年生をエスコートするのが恒例となっています。一緒にクレーンゲームを楽しんだり、アスレチックを楽しんだりしていました。

また、3年生以上のお店は、工夫にあふれていました。ゲームセンターやPCゲームで普段経験したものを、単純化・立体化し自分たちで工夫して実施可能な形に創り出しているのです。模倣から始まった手作りのアトラクションは、オリジナルを超えた新たなものと言えるものばかりでした。

さらには、当日までリハーサルを重ねて試行錯誤を繰り返してきていました。5年生は、実際に愛広苑に訪問して楽しんでもらったゲームの結果をフィードバックし、やり方に検討を重ねてきたそうです。この例にとどまらず、どの学級も当日の運営・内容ともに見事でした。その様子をつぶさにお伝えできないことが残念です。どんなお店を出したのか、どんな遊びが楽しかったのか、お子さんと話してみてください。

このようにクローバーランドでは、学習の成果として発揮したことが関わりの好体験として子どもたちの心に残っていくのです。私も子どもたちと一緒に楽しんだクローバーランド。ゆったりコミュニケーションをしながら、ほっこり心が温まる一日となりました。

子どもは夢中になって物事に取り組むとき、失敗を恐れず、アイデアが湧き出し、どんどん進んでいくものです。今後の学習でも支え合い、アイデアを出し合って、ポジティブに取り組む姿がますます期待できそうだと嬉しくなりました。毎日の学習こそ、好体験の連続であることが大切なのです。

最近は、ドライブスルーより手ごわい「無人レジ」も増えてきています。これもまた焦ってドキドキします。簡素化・効率化がどんどん進む世の中だからこそ、人と人のつながりが生む温かさがうれしいと痛感します。学校外でも好体験をどんどん積んでももらいたいと願って止みません。

※「好体験」・・・好ましい体験という意味で私が作った言葉です。肯定的体験やポジティブ体験とも似たものと考えています。

## 4年生 にじいろ音楽祭 合唱奏「スマイル」♪

4年生 斎藤 隆

11月7日に、待ちに待ったにじいろ音楽祭が開催されました。子どもたちは2つのパートに分かれた合唱に、特別楽器を加えた合唱奏に挑戦。8月末から練習を始めました。音楽の授業に加え、毎朝の歌の練習や昼休みの特別楽器の練習を通じて、子どもたちの熱意はどんどん増していきました。本番直前の体育館での練習では、真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。

当日、会場に向かうバスの中では「緊張する！」という声も聞かれましたが、いざ本番を迎えると、子どもたちは堂々とステージに立ち、笑顔で「スマイル」を歌い上げました。その姿は、これまでの努力が実を結んだ瞬間でした。

### 【子どもたちの感想】

「メロディーの2番がいつも以上に声が出ていて、とてもきれいだった！」

「ハモリの優しいところと強いところを上手に分けて歌えた！」

「にじいろ音楽祭はとても緊張したけれど、歌い終わった時はすっきりした！」

「本番はすごく緊張して、足がふるえた。でもみんなと声を合わせて歌えて楽しかった！」

「口を大きく開けて大きな声で歌ったことが頑張ったこと。最後の『スマイル！』がすごく響いていた！」

子どもたちの努力と成長が詰まった「スマイル」は、観客の心にも響く素晴らしい合唱奏でした。これからも、子どもたちの音楽への情熱とチームワークがさらに高まっていくことを期待しています。お忙しい中、応援に来てくださった皆様、ありがとうございました！

## 楽しさと達成感のクローバーランド✿

児童会 金澤 久恵

子どもたちがとても楽しみにしている行事の一つであるクローバーランドを、11月29日に行いました。それぞれのクラスのお店では、様々な工夫が凝らされていました。どのお店も来てくれるお客さんに楽しんでもらうために、何度も話し合い、試行錯誤をして準備をしたことが伝わるものでした。1年生は、初めてのクローバーランドにわくわくドキドキの様子で、楽しそうにお店を回っていました。どのお店でも親切にしてくれるお兄さんお姉さんに対し、「おもしろかったよ。」「もう一回やってもいいですか。」「と、素直に感想を伝えていました。2年生は、クローバー班の1年生と一緒にお店を回りました。来年は自分たちもお店を出すことを見据えて、「来年、このゲームのお店をしたい。」などと、見通しをもってお店を回る様子が印象的でした。3～6年生は、自分たちのお店で楽しんでもらうことはもちろんですが、お客として、他のクラスのお店を思いっきり楽しんで盛り上げることもクローバーランドでは大切な学びです。どのクラスのお店からも、「いらっしやいませ。」「こちらへどうぞ。」「がんばってください。」「上手ですね。」など、温かな声がたくさん聞こえました。クローバーランドで更に高まった思いやりの心や協力する大切さを、今後の学校生活に生かしていきます。

